



菊地 修さん(59)
悦子さん(61)
＝水沢区虚空蔵小路＝

雨の日も晴れの日も

●どんなときも一緒に素敵な夫婦を紹介

昭和37年創業、水沢区大畑小路で和洋菓子店「柳屋」を営む菊地夫妻です。父親が創業した当時は寺小路に店を構え、和菓子やパンなどを製造販売。その後マルサンデパートの地下専門店街へ出店、結婚式などの引き菓子として人気がありました。修さんは高校卒業後、和菓子と洋菓子それぞれの専門店に数年間の修業を積んだ後、店を継ぎました。

悦子さんと結婚後、修さんは工場での製造業務、悦子さんは店での接客や販売を行ってきました。「お客さんも市民の皆さんも温かい人ばかりです。耳が少し不自由な私ですが、とても親切にしてくれます」と話す悦子さん。現在は息子夫婦と共に家族で店を切り盛りしています。店が年中無休のため、二人でゆっくり旅行したこともなかったそうですが、最近思い切って休みを取りました。「朝4時に早起きして、車で約5時間。妻は花が大好きで」と修さんが選んだ行き先は、茨城県にある国営ひたち海浜公園、みはらしの丘。「夢のような時間でした」と笑顔の悦子さん。最近一番の思い出は、「忙しい一日が終わり、就寝前のあいさつはいつも決まって「今日も一日ありがとう」。感謝の気持ちを伝え合う二人でした。」

夢トーク

将来の夢は「獣医」



佐々木 唯織さん
(水沢区・常盤小学校6年)

Interview

—学校の役割は？
生活委員会の副委員長です。時間や廊下歩行などのルールをみんなが守れるようにしっかりと点検しています。

—小学校生活の思い出は？
5年生の時に林間学校で友達と青少年の家に行ったこと、家族で星座の森へ行ってキャンプしたことが楽しかったです。

—中学校へ進学したら、やってみたいことはありますか？
友達のマーチングバンドを見てすごいと思ったので、吹奏楽部に入って楽器を演奏してみたいです。

—将来の夢を教えてください。
獣医です。友達が飼っているネコが病気になったとき、動物病院でみてもらったおかげですっかり元気になりました。友達が喜んでいる姿を見てとても大切な仕事だと思ったので、獣医になりたいです。

—夢を叶えるために頑張りたいことは何ですか？
ネコとハムスターが好きで、触ったりだっこしたりしていますが、ウサギやイヌなどほかの動物にも触れてみたいです。

青春讃歌

生徒会

(江刺南中学校)



- ◎役員数 8人
- ◎顧問 後藤 眞理子先生
- ◎会長 及川 大樹君(3年)

あいさつ・合唱・ボランティア活動の活性化が目標

「生徒全員が明るく充実した学校生活を送れるように」と新しい生徒会スローガン「煌～つなごう絆 咲かせよう笑華～」への思いを語る江刺南中学校生徒会長の及川大樹君。3年生と2年生の役員8人が明るく和気あいあいと活動しています。

生徒会では、毎週月曜日の朝のあいさつ運動、合唱の強化週間、資源回収や一人暮らし高齢者との触れ合いなどのボランティア活動へ取り組むことを決め、全校生徒へ活動を呼びかけています。資源回収ではアルミ缶を集め、そのお金で車椅子などを購入して福祉施設へ寄贈することを考えています。

「先日行われた体育祭では、昨年の反省点を生かし計画どおりスムーズに進行、全校の絆を深めることができよかったと思う」と副会長の小澤詩織さ

ん。今後の行事でも生徒会が中心となって活動へ取り組み、目標達成を目指します。

顧問の後藤先生は「明るく活発で、アイデアも豊富。悩みながらも全員で力を合わせている。これからも一致団結して頑張ってもらいたい」と期待を寄せました。

ことし創立40周年を迎えた江刺南中学校。10月に行われる文化祭での合唱発表会へ向け、全校生徒72人が全力で取り組んでいます。「地域の皆さん、ぜひ私たちの歌声を聴きに、南中へ来てください」と笑顔で思いを語る生徒会でした。



新しいスローガンを確かめる生徒会役員



紫陽花が大輪の花を咲かせる季節となりましたが、いかがお過ごしですか。



市内3大マラソン大会を一本化して初の開催となった「いわて奥州きらめきマラソン」は、全国各地や台湾も含め4034人もの愛好者が出場し、素晴らしい大会となりました。炎天下のもと、ランナーは地元の声援を受けながら奥州市内を軽やかに駆け抜けました。大会成功に向けて従事されました関係者の皆さん、そして声援を下さった多くの市民の皆さんに心より感謝申し上げます。

ことし8月に県内で初開催となるカヌージャパンカップに向けて、市実行委員会を設立しました。昨年盛大に開催されたいわて国体カヌー競技では、胆沢ダム直下の豊富な水量から、関係者より胆沢川

特設コースが国内有数のコースと高い評価を得ました。いわて国体のレガシーとして引き継ぎ、大会の成功そして合宿誘致に活用し、本市を全国にアピールしてまいります。

第4期となる市協働のまちづくりアカデミーが開講しました。本年度は20～60代の17人が受講し、1年間の講義や地域課題解決に向けた実習を通じて人材を育成します。アカデミーでの出会いと学びで発想力を磨き、さまざまなアイデアで地域を元気にしてほしいと思います。

前沢区本杉工業団地内に新工場を建設する自動車部品塗装業の五和製作所と市の立地調印式が行われました。同社は、愛知県や福岡県、米国に工場がありますが、東北への進出は初めてです。約4億円を投じて新工場を建設し、平成30年をめどに操業を開始します。地元雇用は、操業時が25人、今後10年で100人程度まで増やす計画です。同社の更なる発展と雇用拡大を大いに期待します。

奥州市長 小沢昌記